




介護業界就業検討者の意識レポート②
～介護業界への就業に関する意識調査より～



2022年5月
株式会社リクルート
ジョブズリサーチセンター

はじめに

本レポートは、株式会社リクルートの調査機関ジョブズリサーチセンターが行った「介護業界への就業に関する意識調査」の結果をまとめたものです。労働人口の減少にともなって介護業界の人手不足が顕在化している中、介護業界への入職にあたってハードルとなっているのは何か、改善を求められるポイントは何かを取りまとめています。介護業界への就業を進める施策を考えるための基礎資料としてご活用ください。

■ 調査概要

調査目的	介護業界への就業促進について検討する際の基礎資料とするため、介護業界へ入職に際してのハードル、ひいては改善施策を明らかにすること
調査方法	インターネット定量調査（クロス・マーケティング社モニター）
調査期間	2022年2月25日（金）～3月1日（火）
調査対象	・未経験で5年以内に介護の仕事を検討したことがあるが他業種に就業した方 ・5年以内に未経験で介護の仕事に就業した方 ・資格を持っているが他業種で働いているもしくは非就業の方
回答数	1,265サンプル

■ 本レポートの分析対象

本レポートではまず、未経験で介護を検討しつつも他業種に就業した方が、なぜ介護の仕事を選ばなかったのか、どのようにすれば介護業界への就業を促進できるかを考えるため、下記2つの対象について比較分析をしています。

分析対象	①介護業界未経験で5年以内に介護の仕事を検討したことがあるが他業種に就業した方 ②介護業界未経験で5年以内に介護の仕事に就業した方
回答数	①377サンプル ②299サンプル

※ グラフと数表は、集計結果の小数点以下第2位を四捨五入して表示している。このため、構成比の合計が100にならない場合等がある。

※ 一部、回答数が30に満たない分析軸があるが、参考値として掲載している。

※本レポートの回答者プロフィールは「介護業界就業者の意識レポート①」に掲載している。

※「資格を持っているが他業種で働いているもしくは非就業の方」についての分析は第3弾のレポートにて報告する。

はじめに	1
目次	2
調査背景、調査結果から得られる示唆	3
Part1 仕事探しの経路	
<hr/>	
1. 介護業界検討の程度	4
2. 検討時に利用した情報源	5
3. 転職、就職決定時の情報源	6
Part2 周囲の状況	
<hr/>	
1. 周囲への相談状況	7
2. 周囲の介護業界就業者や要介護者の存在	8
Interview 介護業界で働く方が身近にいると介護業界は選ばれない？	
<hr/>	
松田朗氏へのインタビュー	9

調査背景

介護職員の処遇改善を目的とした施策により、2022年2～9月は補助金の交付、2022年10月からは介護職員の新待遇改善加算が始まる。また、介護保険制度の施行後、要介護（要支援）認定者は増加しており、介護職員数も増加してきているが、少子高齢化が進む中、今後も介護業界の人手不足が続くことが見込まれる。未経験者の介護業界への入職にあたってハードルになっているのは何かを知り、改善を求められるポイントは何かを把握し、着手できる点を改善していく必要がある。

調査結果から得られる示唆

● 介護業界就業検討者の意識レポート①を踏まえて

3月31日に公表した介護業界就業検討者の意識レポート①※1では、介護業界未経験者が仕事探しをする上で重視する事柄を確認した。特に介護職就業を促すために重要と考えられる重視点は、給与だけではなく、勤務時間帯や業務内容、続けやすさなどがあると分かった。これらの点を踏まえて仕事をつくり発信していく必要があると考えられる。

さらに今回のレポートでは、介護施設や訪問介護などの事業者が介護業界未経験者に向けて求人情報を発信していく上でどのようにアプローチするのがよいか、調査結果から見えてきたことを共有する。

● 選考状況 - ミドル・シニアの働きやすい職場づくり・情報提供が重要 - (P.4)

他業種就業者のうち介護業界の仕事に応募した割合は全体で34.7%だった。年代別では10-20代は25.7%、30-40代は31.1%、50代以上では40.9%と、年齢が上がるほど介護の仕事に就くための行動を起こしている方が多い。年齢が上がるにつれて夜勤や体力的な負担、勤務時間などを気にしていると考えられるため、知りたい情報を適切に発信していくのがよいだろう。

● 情報発信 - 企業のコーポレートサイトや口コミも重要 - (P.5-6)

他業種就業者と他業種も検討した介護就業者では、おおむね情報源の利用状況に差はなく、ハローワークや求人情報メディアが多く、3割以上が利用している。特に他業種就業者は求人情報メディアを58.4%が利用していた。また、他業種就業者のほうが「企業の採用ホームページの情報」「口コミ」の利用割合が介護就業者より高く、ハローワークや求人情報メディアに加えて、より広い情報源から情報を収集しているとみられるため、ハローワークや求人情報メディアなど直接求人情報を発信する以外でも事業内容や仕事内容についての情報発信が重要と考えられる。

● 周囲の状況 - 就業者本人だけではなく周囲の方の巻き込みも重要 - (P.7-8)

また、就業者本人だけではなく、就業者の周囲の方の巻き込みも重要であることが見えてきた。

他業種就業者のほうが介護業界で働いている人が周囲にいる割合が5pt程度高い。介護業界への就業促進を考えるにあたり、周囲に介護の仕事を知る人が身近にいるほうが介護の仕事に興味関心を持ち、就業しやすいのではないかと考えられるが、よりリアルな情報があるからこそ自分には無理だと思ったり、ネガティブな情報が入ってきて就業意欲にはマイナスにも働きうるのではないかと考えられる。

介護施設や訪問介護などの介護業界全体で、未経験者の採用を考えるにあたっては、採用自体だけではなく、いま職場で働いている方の職場環境の改善が採用にもつながりうるのではないだろうか。その職場で働く人の状況次第で、周囲にいる新しく介護の仕事を検討する方の介護職への印象が変わり、就業意欲が左右される。

本調査結果を踏まえ、周囲の状況と介護業界への就業について、介護施設や訪問介護などのご経験をお持ちで現在学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校で介護福祉科学科長の松田朗氏にお話を聞いた。インタビューの概要をP.9に掲載している。

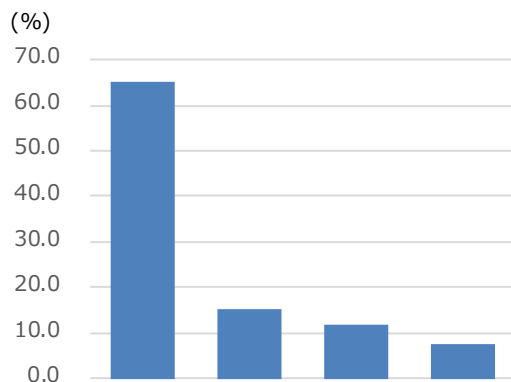
※1 介護業界就業検討者の意識レポート①：https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20220331_2167.html

1.介護業界検討の程度

- 他業種就業者における、介護業界検討状況は、「介護業界の募集内容を見たが、応募しなかった」が65.3%。「応募した」人は34.7%で、「選考を受けた」人は19.4%となる。
- 年代別で見ると、「応募した」の割合は年代が高いほど増加、50代以上では40.9%が応募まではしていたが、内定辞退の割合も多い。内定後に夜勤などの勤務シフトで「思った仕事と違う」と思われぬよう、応募者が何を重視しているのかを確認することが重要だろう。

Q. 現在の仕事の転職・就職時に「介護」業界を検討した際どの程度まで選考を進めましたか。(単一回答)

【対象：他業種就業】

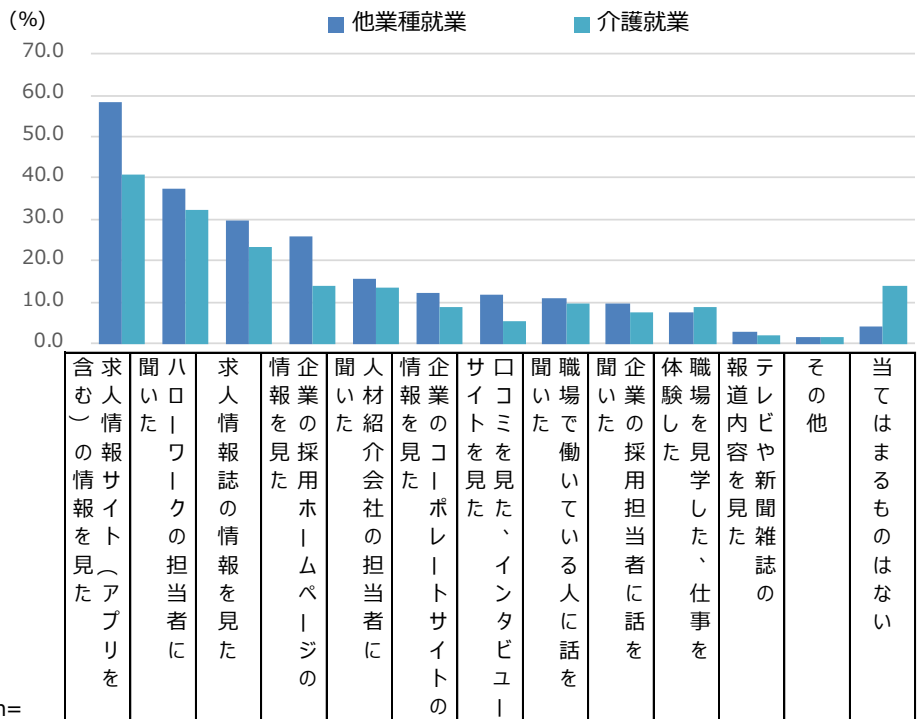


		n=	① 応募しな かった (募集 内容 を見た が、)	② 面接 や施設 見学 など に応 募し たが、	③ 介護 業界 の仕 業を 志す に至 らな かつ た	④ 介護 業界 の仕 業を 志す 内定 を	応募 した ・計 (② + ③ + ④)	選考 を受 けた ・計 (③ + ④)	選考 を受 けて いな い・ 計 (① + ②)	内定 を受 けて いな い・ 計 (① + ② + ③)
他業種就業		377	65.3	15.4	11.9	7.4	34.7	19.4	80.6	92.6
性別	男性	188	62.8	16.5	14.4	6.4	37.2	20.7	79.3	93.6
	女性	189	67.7	14.3	9.5	8.5	32.3	18.0	82.0	91.5
年代	10-20代	35	74.3	17.1	5.7	2.9	25.7	8.6	91.4	97.1
	30-40代	183	68.9	13.7	11.5	6.0	31.1	17.5	82.5	94.0
	50代以上	159	59.1	17.0	13.8	10.1	40.9	23.9	76.1	89.9
現在の業種	販売・サービス・フード系	127	65.4	15.7	11.0	7.9	34.6	18.9	81.1	92.1
	製造・物流・清掃系	130	64.6	14.6	13.1	7.7	35.4	20.8	79.2	92.3
	医療機関	44	54.5	22.7	11.4	11.4	45.5	22.7	77.3	88.6
	IT・その他	76	72.4	11.8	11.8	3.9	27.6	15.8	84.2	96.1

2. 検討時に利用した情報源

- 他業種就業者、介護就業者とも、検討時の情報源には、「求人情報サイトの情報を見た」「ハローワークの担当者に聞いた」「求人情報誌の情報を見た」が多い。
- 他業種も検討した介護就業者は「求人情報サイト」「求人情報誌」「ハローワーク」「人材紹介」などの利用率が介護のみを検討した方よりも高く、広く情報収集を行い比較検討しているとみられる。
- 他業種就業者と他業種も検討した介護就業者では、おおむね情報源の利用状況に差はないが、他業種就業者のほうが「企業の採用ホームページの情報」「口コミ」の割合が高く、サイトやハローワークなどと合わせてより広く情報を収集しているとみられる。

Q. 現在の仕事への転職・就職時に、検討時には、どのような情報源を利用しましたか。（複数回答）

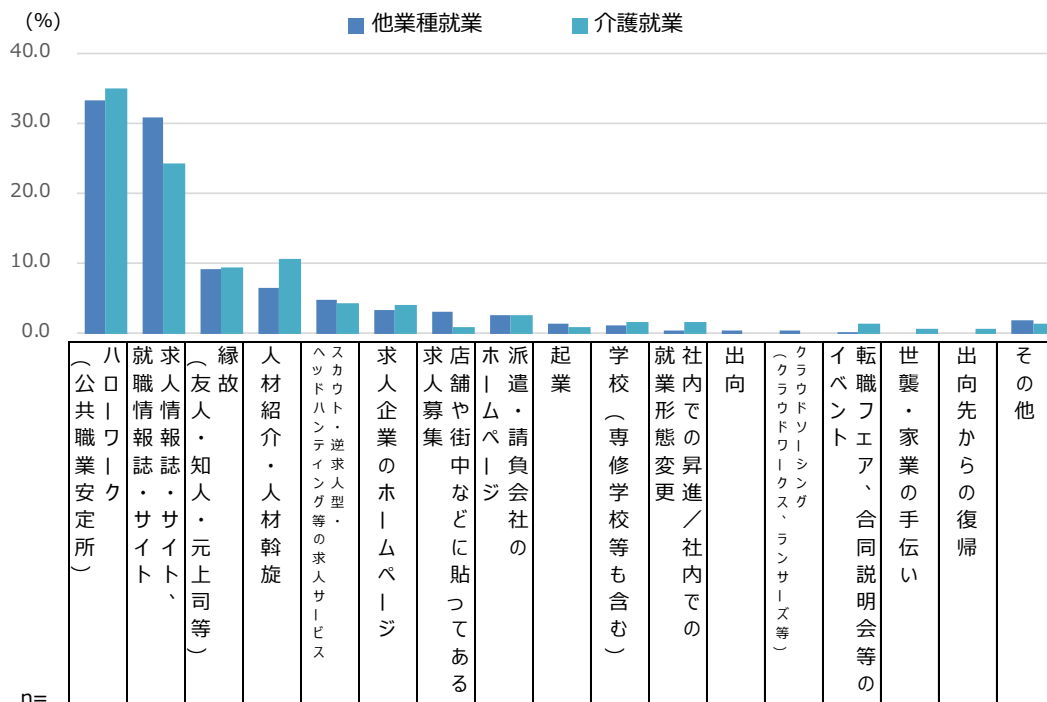


他業種就業		n=	求人情報サイト（アプリを含む）の情報を見た	ハローワークの担当者に聞いた	求人情報誌の情報を見た	企業の採用ホームページの情報を見た	人材紹介会社の担当者に聞いた	企業のコーポレートサイトの情報を見た	企業のホームページを見た	口コミを見た、インタビューをした	職場で働いている人に話を聞いた	企業の採用担当者に話を聞いた	職場を見学した、仕事を体験した	報道内容を見た	テレビや新聞雑誌のその他	当てはまるものはない
他業種就業		377	58.4	37.4	29.7	25.7	15.6	12.2	11.9	10.9	9.5	7.4	2.9	1.6	4.0	
性別	男性	188	53.2	39.4	31.4	21.3	19.7	14.9	11.2	11.7	10.6	6.9	1.1	1.6	3.7	
	女性	189	63.5	35.4	28.0	30.2	11.6	9.5	12.7	10.1	8.5	7.9	4.8	1.6	4.2	
年代	10-20代	35	62.9	25.7	14.3	31.4	17.1	20.0	11.4	14.3	5.7	11.4	2.9	0.0	5.7	
	30-40代	183	61.7	37.2	34.4	32.8	14.8	15.8	15.8	13.7	9.8	8.7	4.4	1.6	4.4	
	50代以上	159	53.5	40.3	27.7	16.4	16.4	6.3	7.5	6.9	10.1	5.0	1.3	1.9	3.1	
現在の業種	販売・サービス・フード系	127	67.7	38.6	33.1	26.8	8.7	9.4	9.4	11.8	7.9	6.3	2.4	2.4	2.4	
	製造・物流・清掃系	130	54.6	40.0	31.5	17.7	17.7	10.8	10.8	5.4	9.2	7.7	1.5	0.0	6.2	
	医療機関	44	45.5	52.3	22.7	38.6	25.0	15.9	13.6	13.6	11.4	9.1	4.5	4.5	2.3	
	IT・その他	76	56.6	22.4	25.0	30.3	18.4	17.1	17.1	17.1	11.8	7.9	5.3	1.3	3.9	
介護就業		299	40.8	32.4	23.4	14.0	13.4	9.0	5.4	9.7	7.4	8.7	2.0	1.7	14.0	
性別	男性	149	36.9	32.2	22.8	12.8	16.1	8.1	6.0	7.4	8.1	6.7	2.0	1.3	16.8	
	女性	150	44.7	32.7	24.0	15.3	10.7	10.0	4.7	12.0	6.7	10.7	2.0	2.0	11.3	
年代	10-20代	33	42.4	33.3	18.2	15.2	21.2	12.1	9.1	9.1	3.0	9.1	0.0	0.0	12.1	
	30-40代	161	42.2	26.7	23.0	13.7	16.1	10.6	5.6	9.3	6.8	9.3	3.1	1.9	13.0	
	50代以上	105	38.1	41.0	25.7	14.3	6.7	5.7	3.8	10.5	9.5	7.6	1.0	1.9	16.2	
業種	介護のみ検討	145	28.3	27.6	17.2	12.4	9.7	4.8	4.8	9.7	5.5	8.3	0.0	0.7	18.6	
	他業種検討	154	52.6	37.0	29.2	15.6	16.9	13.0	5.8	9.7	9.1	9.1	3.9	2.6	9.7	

3. 転職、就職決定時の情報源

- 他業種就業者、介護就業者とも、就業先決定時に役立った情報源は、「ハローワーク」「求人情報誌・サイト、就職情報誌・サイト」が多い。他業種就業者のほうが介護就業者より「求人情報誌・サイト、就職情報誌・サイト」が役立ったという回答が多い。
- 若年のほうが介護就業者より他業種就業者で「求人情報誌・サイト、就職情報誌・サイト」が役立ったという回答が多い。
- 介護就業者の中でも介護のみ検討した場合より他業種を検討したほうが「求人情報誌・サイト、就職情報誌・サイト」が役立ったという回答が多い。

Q. 現在の仕事への転職・就職時に、最終的に選択した転職先、就職先について、最終決定するに至った意思決定にもっとも役立った情報は、どのような経路で入手しましたか。（単一回答）



		n=	ハローワーク (公共職業安定所)	求人情報誌・サイト、 就職情報誌・サイト	縁故 (友人・知人・元上司等)	人材紹介・人材斡旋	ヘッドハンティング等の求人サービス	スカウト・逆求人型・ ヘッドハンティング等の求人サービス	求人企業のホームページ	求人募集 店舗や街中などに貼ってある	派遣・請負会社の ホームページ	起業	学校（専修学校等も含む）	社内での昇進／社内での 就業形態変更	出向	クラウドソーシング (クラウドワークス、ランサーズ等)	転職フェア、合同説明会等の イベント	世襲・家業の手伝い	出向先からの復帰	その他
他業種就業		377	33.2	31.0	9.3	6.4	4.8	3.4	3.2	2.7	1.3	1.1	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0	0.0	1.9	
性別	男性	188	36.7	27.1	10.6	8.0	8.0	2.1	1.1	0.5	2.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.6	
	女性	189	29.6	34.9	7.9	4.8	1.6	4.8	5.3	4.8	0.5	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	2.1	
年代	10-20代	35	20.0	28.6	11.4	8.6	2.9	8.6	5.7	5.7	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	
	30-40代	183	29.5	34.4	9.8	4.4	7.1	2.7	3.8	2.2	2.2	0.5	1.1	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1	
	50代以上	159	40.3	27.7	8.2	8.2	2.5	3.1	1.9	2.5	0.6	0.6	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	2.5	
現在の業種	販売・サービス・フード系	127	31.5	37.8	6.3	3.9	4.7	3.9	5.5	0.8	1.6	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	1.6	
	製造・物流・清掃系	130	38.5	32.3	8.5	6.9	4.6	3.1	2.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	
	医療機関	44	34.1	18.2	9.1	11.4	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	
	IT・その他	76	26.3	25.0	15.8	6.6	5.3	2.6	0.0	6.6	3.9	1.3	1.3	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	
介護就業		299	35.1	24.4	9.4	10.7	4.3	4.0	1.0	2.7	1.0	1.7	1.7	0.0	0.0	1.3	0.7	0.7	1.3	
性別	男性	149	34.9	22.1	10.1	10.7	5.4	4.0	0.7	2.7	1.3	1.3	2.7	0.0	0.0	2.0	0.0	0.7	1.3	
	女性	150	35.3	26.7	8.7	10.7	3.3	4.0	1.3	2.7	0.7	2.0	0.7	0.0	0.0	0.7	1.3	0.7	1.3	
年代	10-20代	33	39.4	12.1	9.1	12.1	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0	
	30-40代	161	32.3	26.1	8.1	14.9	6.2	3.7	0.6	2.5	0.6	1.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.6	
	50代以上	105	38.1	25.7	11.4	3.8	1.9	4.8	1.9	2.9	1.0	1.0	1.9	0.0	0.0	2.9	1.0	0.0	1.9	
業種	介護のみ検討	145	35.9	19.3	12.4	9.7	4.1	4.1	1.4	2.8	0.0	3.4	2.8	0.0	0.0	1.4	0.0	0.7	2.1	
	他業種検討	154	34.4	29.2	6.5	11.7	4.5	3.9	0.6	2.6	1.9	0.0	0.6	0.0	0.0	1.3	1.3	0.6	0.6	

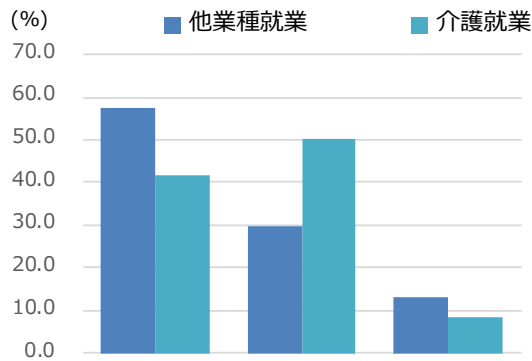
※「以前の会社（再雇用含む）、シルバー人材センターは回答なしのため表から割愛

1. 周囲への相談状況

- 「周囲の人に相談した」のは介護就業者で58.5%と他業種就業者42.7%よりも高い。介護就業者のうち30-40代が66.5%と他年代よりも高い。介護職に就いている方は他業種に就いている方より相談している割合が多いので、応募や就業前に気軽に相談しやすい環境づくりができるとよいだろう。

Q. 現在の仕事への転職・就職時に「介護」業界を検討しますが、選定にあたってあなたの周囲の人から反対されましたか。

(単一回答)

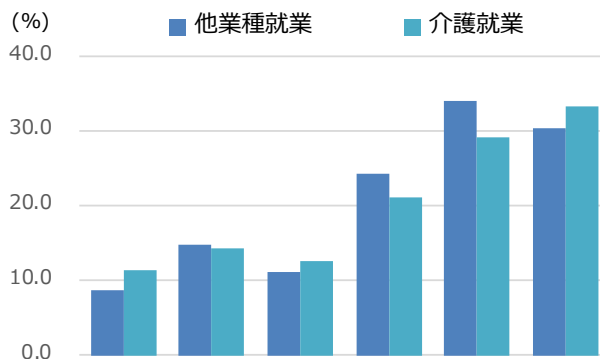


		n=	① 周囲の人には相談していない (%)	② 周囲の人は反対されたが、介護職に就く (%)	③ 周囲の人から反対された (%)	相談した・計 (② + ③) (%)
他業種就業		377	57.3	29.7	13.0	42.7
性別	男性	188	54.3	33.0	12.8	45.7
	女性	189	60.3	26.5	13.2	39.7
年代	10-20代	35	57.1	31.4	11.4	42.9
	30-40代	183	56.3	31.1	12.6	43.7
	50代以上	159	58.5	27.7	13.8	41.5
現在の業種	販売・サービス・フード系	127	59.8	25.2	15.0	40.2
	製造・物流・清掃系	130	56.9	26.9	16.2	43.1
	医療機関	44	54.5	38.6	6.8	45.5
	IT・その他	76	55.3	36.8	7.9	44.7
介護就業		299	41.5	50.2	8.4	58.5
性別	男性	149	41.6	48.3	10.1	58.4
	女性	150	41.3	52.0	6.7	58.7
年代	10-20代	33	42.4	51.5	6.1	57.6
	30-40代	161	33.5	57.1	9.3	66.5
	50代以上	105	53.3	39.0	7.6	46.7
業種	介護のみ検討	145	42.1	49.0	9.0	57.9
	他業種検討	154	40.9	51.3	7.8	59.1

2. 周囲の介護業界就業者や要介護者の存在

- 他業種就業者、介護就業者とも、自分自身の介護経験や介護に近い将来必要な方がいる割合より、周囲に介護業界で働いている方がいる割合が高い。
- 「介護業界で働いている人が周囲にいる」は介護就業者で29.1%、他業種就業者で34.0%と他業種就業者のほうが若干高い。周囲に介護業界で働いている人がいることは介護業種への就業を検討するきっかけにはつながっているものの、介護業界への就業を決める上ではネガティブにも働いてしまっている可能性がある。

Q. あなたの周囲に、介護が必要な要介護者、または介護業界で働いている人はいますか。（複数回答）



		n=	①	②	③	④	⑤	⑥	① or ②	③ or ④	⑤ or ⑥
他業種就業		377	8.8	14.9	11.1	24.4	34.0	30.5	22.0	30.5	69.5
性別	男性	188	11.2	14.4	10.6	23.9	30.9	31.9	23.4	30.3	68.1
	女性	189	6.3	15.3	11.6	24.9	37.0	29.1	20.6	30.7	70.9
年代	10-20代	35	2.9	11.4	11.4	8.6	42.9	28.6	14.3	25.7	71.4
	30-40代	183	7.7	14.8	13.1	26.8	35.0	30.1	19.7	27.9	69.9
	50代以上	159	11.3	15.7	8.8	25.2	30.8	31.4	26.4	34.6	68.6
現在の業種	販売・サービス・フード系	127	7.9	15.0	10.2	26.8	35.4	27.6	22.0	31.5	72.4
	製造・物流・清掃系	130	9.2	13.1	10.8	22.3	28.5	37.7	20.0	27.7	62.3
	医療機関	44	9.1	13.6	11.4	27.3	36.4	27.3	18.2	25.0	72.7
	IT・その他	76	9.2	18.4	13.2	22.4	39.5	25.0	27.6	36.8	75.0
介護就業		299	11.4	14.4	12.7	21.1	29.1	33.4	23.7	32.1	66.6
性別	男性	149	12.1	12.8	14.8	17.4	24.2	37.6	22.1	30.9	62.4
	女性	150	10.7	16.0	10.7	24.7	34.0	29.3	25.3	33.3	70.7
年代	10-20代	33	15.2	12.1	12.1	3.0	21.2	48.5	24.2	30.3	51.5
	30-40代	161	9.9	14.3	16.8	22.4	28.0	31.7	21.7	34.2	68.3
	50代以上	105	12.4	15.2	6.7	24.8	33.3	31.4	26.7	29.5	68.6
業種	介護のみ検討	145	9.0	13.8	13.8	21.4	25.5	33.8	21.4	32.4	66.2
	他業種検討	154	13.6	14.9	11.7	20.8	32.5	33.1	26.0	31.8	66.9

Interview 介護業界で働く方が身近にいると介護業界は選ばれない？

本レポートは、介護業界への入職にあたってハードルとなっているのは何か、改善を求められるポイントなど、これからの介護業界、事業所に必要なことが検討できるよう取りまとめました。

そのなかでもっとも気になったものが、「周囲の状況」(P.8)です。

この点について、介護施設や訪問介護などのご経験をお持ちで現在学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校で介護福祉科学科長の松田朗氏にお話を聞きました。

- 介護業界で働く方が周囲にいるほうが他業種に就業していることが調査よりわかりました。リアルな情報を得ることで、プラスではなくネガティブに考えてしまうことのほうが多いのでしょうか。

介護の仕事のリアルを知る、という前に、そもそも多くの日本人が年を重ねることにに対してネガティブなイメージを持っているのではないのでしょうか。多くの方が人生の最後に介護が必要になる状況を積極的に望んでいませんが、介護は自分の想いだけでは避けられないことでもあります。

そのような意識のなかで介護の仕事のネガティブな情報を先行して聞くことで、自分はそんな風にはなりたくない、そのような介護の仕事は自分には無理だ…となってしまふ求職者もいらっしゃるのだと思います。

- 介護業界にかかわらず、実際の仕事内容を事前に知ることは大事ですよ。ただ、それで介護の仕事は無理かもしれないと思われる人が多くなってしまつたら、何に工夫すればネガティブだけにならないと思われませんか。

リアルを知るとはけっしてネガティブなだけではありません。私が気になるのは、介護の仕事の本質を理解し、発信していますか？ということですよ。

介護の仕事は、加齢によりできなくなることをフォローするという印象かもしれませんが、介護とはよりよい状態で過ごすことをサポートする仕事、プラスを引き出す仕事でもあります。日常生活の支障を取り除く手伝いをするだけでなく、利用する方の社会生活が充実したものになるようにサポートしていくことができる仕事なのです。また、サービスの提供者と利用者という一方的な関係ではなく、介護の仕事を通じて、いわば人生の大先輩から貴重な話を聞いて自分自身の人生を深めることもできます。

介護業界で働く人々が、社会に役立つといった介護の仕事の大目的や、勤務時間や給与といった具体的な労働条件などだけではなく、介護の仕事の本質を理解し、周囲の人に話せるように職場や業界全体で取り組んでいくことが大切でしょう。ネガティブな面もポジティブな面も両方を事前に知ってから入職したほうが、働いている本人がやりがいをもって介護の仕事が続けていくことにつながるのではないのでしょうか。

松田朗（まつだあきら）氏

学) 川口学園早稲田速記医療福祉専門学校介護福祉科学科長。一社) 職業教育研究開発推進機構常任理事。特非) 日本介護予防協会理事。介護福祉士。認定精神保健福祉士。1988年亜細亜大学経営学部卒業後、俳優としてドラマ・舞台・映画・CM等100本余りに出演。1993年出演舞台の本番中に転落事故に遭遇し大腿骨頸部を骨折。予後不良のため損傷部を切断し身体障がい者に。障がい児ボランティアを経て、福祉業界へ転身。以後、高齢者介護、重度障がい者支援、引きこもりサポート等に従事。2007年からは現場実務と並行して、専門学校や都立職業能力開発センター、行政や団体、民間企業の研修会等で講師を務め現職となる。



介護業界就業検討者の意識レポート②
～介護業界への就業に関する意識調査より～

株式会社リクルート
ジョブズリサーチセンター

